製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1, 化学物質等及び会社情報

製品名　(特級)　2-ニトロアニリン　2-Nitroaniline
整理番号　54060
作成日　2009 年 10 月 8 日
改訂日

会社名　純正化学株式会社
本社住所　〒103-0023　東京都中央区日本橋本町 4-4-16
●連絡先及び緊急連絡先 (MSDS 作成担当)
担当部門　営業本部　担当者　菅野英奇
担当住所　〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1－6
電話番号　048-988-3621　FAX 番号　048-988-8719
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
http://www.junsei.co.jp

用途と使用上の注意:　本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

【GHS 分類】(純正化学分類)

物理化学的危険性

火薬類	:区分外
可燃性固体	:区分外
自己反応性化学品	:区分外
自然発火性固体	:区分外
酸化性固体	:区分外

健康に対する有害性

急性毒性　経口	:区分4
吸入:粉塵ミスト	:区分外
生殖細胞変異原性	:区分2

環境に対する有害性

水性環境急性有害性	:区分3
水性環境慢性有害性	:区分3

(注) 危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

【GHS ラベル要素】

【GHS 絵表示】

【注意喚起語】

警告

【危険有害性情報】

●飲み込むと有害（経口）

●遺伝性疾患のおそれの疑い

（他の経路からの暴露が有害でないことが決定的に証明されている場合、有害な暴露経路を記載）

●水生生物に有害

●長期的影響により水生生物に有害

【注意書】

【安全対策】

・使用前に取扱説明書(MSDS)を入手すること。

・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

・取扱い後はよく手を洗うこと。

・必要に応じて個人用保護具を使用すること。

・環境への放出を避けること。

【救急処置】

・飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。

・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。

【保管】

・施錠して保管すること。

【廃棄】

・中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

3，組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：2-ニトロアニリン

化学式：C6H6N2O2

CAS No：88-74-4

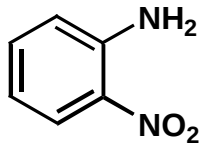
EINECS No：201-855-4

含有量：98.0%

化審法：3-392

安衛法：公表

構造式



4，応急措置

○ 吸入した場合：新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

○ 皮膚に付着した場合：汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

○ 眼に入った場合：先ず数分間、多量の水で洗い流す（できればコンタクトレンズをはずす）。医師に連れて行く。

○ 飲み込んだ場合：意識あるなら、口をすすぎ、2－4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

5, 火災時の措置

消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF（水性膜泡消火薬剤）、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消化剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性：

特有の消火方法：データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具：防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

－蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、
局所排気したり、保護具を着用する。

－作業場を換気する。

－作業中は飲食、喫煙をしない。

－強酸化剤との接触に注意する。

保管

－火気厳禁。

－密栓して換気のよい冷暗所に保管する。

－強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気：換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度（労働安全衛生法）：設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2008 年度)：設定されていない

ACGIH(2007 年)：設定されていない

設備対策

局所排気装置

保護具
－防塵マスク。有機ガス用防毒マスク。送気マスク、空気呼吸器等。
－不浸透性保護手袋。
－安全ゴーグル。
－不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質
外観：橙色から褐色の結晶
臭い：僅かな臭い
pH: 6.1 (10g/L 水溶液)
融点：70-74℃
沸点：284℃
引火点： 168℃
爆発範囲の上限・下限： 1.5-9.8 vol%
蒸気圧：1mmHg 104℃
蒸気密度：データなし
比重：0.9015 25/4℃
溶解度：水 14.9g/L 30℃
n-オクタノール／水分配係数：1.85
自然発火温度：521℃
分解温度：データなし

【GHS分類】
火薬類 ：区分外
化学構造にニトロ基を含み、火薬類に該当する可能性はあるが、データがなく分類できない。
引火性ガス ：分類対象外
GHS の定義における固体である。
引火性エアゾール ：分類対象外
エアゾール製品でない。
酸化性ガス ：分類対象外
GHS の定義における固体である。
高圧ガス ：分類対象外
GHS の定義における固体である。
引火性液体 ：分類対象外
GHS の定義における固体である。
可燃性固体 ：区分外
データなし
自己反応性化学品 ：区分外
化学構造に、爆発性に関わる原子団としてニトロ基を含むが、データなし。
自然発火性液体 ：分類対象外
GHS の定義における固体である。
自然発火性固体 ：区分外
データなし
自己発熱性化学品 ：分類できない

データなし
水反応性可燃性物質　　:分類対象外
金属または半金属 (B, Si, P, Ge, As, Se, Sn, Sb, Te, Bi, Po, At) を含まない。
酸化性液体　　:分類対象外
GHS の定義における固体である。
酸化性固体　　:区分外
炭素、水素以外の元素と化学結合している酸素を含む有機化合物であるが、データがなく分類できない。
有機過酸化物　　:分類対象外
-O-O-構造を含まない有機化合物である。
金属腐食性物質　　:分類できない
固体状の物質に適した試験方法が確立していない

10, 安定性及び反応性
反応性と安定性:常温常圧で安定
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など) : データなし
混触不可物質 : 強い酸化剤、酸類、酸クロライド類、硝酸、硫酸、酸無水物
危険な分解生成物 : 窒素酸化物ガス
危険な重合反応 : しない

11, 有害性情報
急性毒性　経口
LD50 = 1600mg/kg　ラット　　区分4
急性毒性　経皮
データなし
急性毒性　吸入 : ガス
データなし
急性毒性　吸入 : 蒸気
データなし
急性毒性　吸入 : 粉塵ミスト
LC50 > 2.529mg/L　4H　ラット　　区分外
皮膚腐食性／刺激性
データなし
眼に対する重篤な損傷性／刺激性
データなし
呼吸器感作性
データなし
皮膚感作性
データなし
生殖細胞変異原性
in vivo　小核試験　　マウス　　陽性　　区分2
厚生労働省　変異原化学物質
発がん性
データなし
生殖毒性

データなし
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)
データなし
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)
データなし
吸引性呼吸器有害性
データなし

12, 環境影響情報
－生態毒性
水性環境急性有害性
LC50 = 19.5mg/L 96H　Zebra donio　区分3
水性環境慢性有害性
難分解性より　区分3

(化審法既存化学物質の安全性点検)(昭和 52 年 11 月 30 日)
－分解性:難分解性
－蓄積性:濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

13, 廃棄上の注意
中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

国連番号:1661
品名:ニトロアニリン
国連分類:6.1 (毒物)
容器等級: II
海洋汚染物質:非該当

15, 適用法令
消防法:非該当
毒劇法:非該当
現PRTR法:非該当(平成12年3月30日施行)
新PRTR法:1-312(オルト－ニトロアニリン)(平成21年10月1日施行)
労働安全衛生法:安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号):非該当

16, その他の情報
参考文献
－メルクインデックス13版 6616
－STNインターナショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
－危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)

－改訂第2版　緊急時応急措置指針（日本規格協会）（指針番号：153）
－NITE　GHS 分類マニュアル（H18.2.10 版）
－製品安全データシートの作成指針（改訂第2版）（（社）日本化学工業協会）
－化学物質総合情報提供システム（CHRIP）（NITE）　http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途, 用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。